

KVK

ワンコックサーモスタット式シャワー
KF125(Z)TK<各仕様共通>

施工説明書

施工業者様へ

施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。
■この施工説明書はKF125TK3仕様のイラストで説明しています。

安全上のご注意

- ここに示した警告は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した注意は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけ
ない「禁止」の内容です

この絵表示は、必ず実行して
いただく「強制」の内容です

警告

湯水を逆に配管しないでくだ
さい。

禁止

水を出そうとしても、湯が出てやけ
どをすることがあります。必ず給水
配管が右側、給湯配管が左側に配管
されていることを確かめてください。

給湯温度は85℃より高温で使用
しないでください。

禁止

85℃より高温でご使用になると、
水栓の寿命が短くなり、破損して、
やけどをしたり、漏水で家財など
を濡らす財産損害発生のおそれ
があります。

加工及び接合、市販浄水器具の取
り付け等の改造はしないでくだ
さい。

禁止

器具が破損し、やけど・けがをし
たり、漏水で家財などを濡らす財
産損害発生のおそれがあります。

給湯に蒸気を使用しないでくだ
さい。

禁止

器具が破損して、やけど、漏水の
おそれがあります。

配管などの解氷のため解氷機をご使
用の場合、水栓(給水・給湯管含む)
には絶対に通電しないでください。

禁止

通電すると水栓や給水・給湯管が
発熱し、破損して家財などを濡ら
す財産損害発生のおそれがあります。

寒冷地仕様の場合
水抜きつまみは水抜き以外の目
的で開けないでください。

禁止

水抜きつまみをいきなり開けますと
高温の湯が出てやけどをしたり、湯
水が噴き出して、家財などを濡らす
財産損害発生のおそれがあります。

温度調節ハンドルの目盛が、吐
水温度と合っているか確認して
ください。

!

取付現場の圧力状況により目盛
通りの湯温にならず、やけどをす
るおそれがあります。

ストレーナの清掃は止水弁または元栓で
必ず湯水を止めてから行ってくだ
さい。
また、操作の際は湯側止水栓が熱
くないことを確認してください。

!

高温の湯が出てやけどをしたり、湯
水が噴き出して、家財などを濡らす
財産損害発生のおそれがあります。

器具に強い力や衝撃を与えない
でください。

禁止

器具が破損し、漏水で家財などを
濡らす財産損害発生のおそれあり
ます。

めっき仕様の場合
めっき部品は、ぶついたり落したり
しないでください。また、鋭利な
物や硬い物を当てないでください。

禁止

めっきの表面が割れて、けがをす
るおそれがあります。万一めっき
の表面が割れた場合は、ただちに
新しい部品に交換してください。

配管接続部をテーパねじに接続
しないでください。

禁止

テーパねじに接続すると、接続部
がゆるんだり、パッキンが切れた
りして、漏水で家財などを濡らす
財産損害発生のおそれがあります。

小型電気温水器(即湯器)等に給
湯ホースを接続する際は、ステン
フレキ管等を介してください。

!

高温の熱により給湯ホースの寿命が
短くなり、漏水で家財などを濡らす
財産損害発生のおそれがあります。

止水栓取り付け箇所や給水・給湯管
との接続箇所は、点検口を設けるな
ど点検しやすい状態にしてください。

!

点検ができないと万一漏水発生時
には発見が遅れて家財などを濡ら
す財産損害発生のおそれがあります。

凍結が予想される際は、一般地仕様をお使
いの場合、少量の水を出しておくか、配管に
布を巻くなどして、凍結を防止してください。
寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操
作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。

!

水抜きしないと凍結破損で漏水
し、家財などを濡らす財産損害発
生のおそれがあります。

取り付け前に

- ① 使用水压(A=(給湯器の最低作動水压)+(配管圧力損失))
- (1)瞬間給湯器との組み合わせ(設定条件 水温:25℃ 給湯器温度調節:高温 吐水温度:42℃ ハンドル全開)
(比例制御式)最低必要水压:A+50.0KPa(動水压)、最高水压:0.75MPa(静水压)
- (2)貯湯式給湯器との組み合わせ
(給湯・給水圧力)最低必要水压:A+50.0KPa(動水压)、最高水压:0.75MPa(静水压)
- ② 吐止水レバーは全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。
- ③ 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯器の給湯温度は50℃～60℃に設定することをおすすめします。
- ⑦ 給湯器からの配管是最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 本製品は、改造(加工および接合、市販浄水器具の取り付け等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑩ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

取り付け完成図と各部の名称 / 寸法図

取り付け完成図と各部の名称

寸法図

シャワーヘッド
シャワー
スタンド
温度調節
ハンドル
吐止水
レバー
ストッパー
解除ボタン
吐水切
換ボタ
ン

取り付け穴
φ36～38

75
110

φ53

W35-16
(取り付け穴
φ36～38)

G 1/2

シャワーホース長さ 1100

仕 様	白 仕 様	め っ き 仕 様
A 寸 法	145 ・ 292	135
B 寸 法	139 ・ 209	137

分解図

この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50

めっき仕様

めっき仕様のみ同梱

寒冷地仕様

寒冷地仕様

13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50

キャップ

ねじ

温度調節ハンドル

ハンドル金具

ねじ

ストッパー

ねじ

吐止水レバー

セレーションリング

カラー

締め付けナット

シートパッキン

デッキ厚調節パッキン

スペーサー

本体

ビス

スリップ板

サーモスタットカートリッジ

ふた

パッキン

フレキホース

パッキン

ストレーナ付逆止弁

逆止弁ユニット

ストレーナ

シャワーヘッド

パッキン

プラグ

キャップ

カプラー

水抜き付きカプラー

シャワーホース

シートパッキン

輪パッキン

スリップ板

フランジ

シャワースタンド

シャワーフェイス

3 ページ

取り付け手順 1

1
2
3

給水管内の清掃

止水栓(別売)と逆止弁ユニットの取り付け

本体の取り付け

配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。

① 止水栓を取り付けます。
② 逆止弁ユニットを止水栓に接続します。
【△注意】
・接続は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。
締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。
・薄肉の接続管(ニップル等)には逆止弁ユニットを接続しないでください。パッキンが切れ、漏水で家財などを濡らすおそれがあります。
・止水栓がしっかり固定されている事を確認してください。固定されていないとフレキシブルホースが抜け、漏水の原因となります。

逆止弁ユニット
止水栓(別売)
スパナ等
しめる

デッキ
板厚の確認 t
取り付け穴
φ36～38

デッキ厚調節
パッキン
スペーサー
① 有無、枚数を
調整
本体

締め付けナット
シートパッキン
デッキ
②-2 固定
②-1 はめ込む
6mm
以上
KVKマーク
前向き
本体

デッキ厚調節
パッキン
スペーサー
① はずす
本体

締め付けナット
シートパッキン
② パッキン付
スペーサー
(同梱)
③-2 固定
③-1 はめ込む
2mm
以下
KVKマーク
前向き
本体

4 ページ

取り付け手順2

4 温度調節ハンドルと吐止水レバーの取り付け

① セレーションリングの切り欠きと、ストッパーの切り欠きが同じ位置か確認します。
ズれている場合は、セレーションリングを回し、同じ位置になるよう調節してください。

【お願い】切り欠きが同じ位置になったら、温度調節ハンドルを固定するまでセレーションリングを動かさないように注意してください。動かして位置をずらして固定すると、吐水湯温と希望湯温の誤差が大きくなります。

② カラーを取り付けます。カラー内面の突起部を、ストッパーとセレーションリングの切り欠きに通してはめ込みます。(グレーのポイントが前面になります)

③ 吐止水レバーを取り付けます。吐止水レバー内面の突起部を、ストッパーとセレーションリングの切り欠きに通してはめ込みます。(レバーは正面を向きます)

④ 温度調節ハンドルを取り付けます。温度調節ハンドル内部の切り欠きをハンドル金具の突起部(ねじ)に合わせてはめ込み、ねじで固定します。

⑤ キャップをはめ込みます。

突起部 カラー
ポイント(グレー) ストッパー
② 通す セレーションリング
切り欠き 締め付けナット

突起部 吐止水レバー
③ 通す
切り欠き

⑤ はめ込む キャップ
④-2 固定 ねじ
切り欠き 温度調節ハンドル
④-1 合わせる ハンドル金具
突起部(ねじ)

5 本体と逆止弁ユニットの接続

図1のようにフレキホースで接続します。

【△注意】

- ・接続は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。
- ・ポップアップワイヤーとフレキホースが接触しないようにしてください。接触部から亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
- ・図2のような無理な配管はしないでください。配管の抜けや亀裂や破損の原因となり、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。また、寒冷地仕様では水が抜けなくなります。

図1 図2

パッキン フレキホース パッキン 逆止弁ユニット

接続後、ナットが確実に締め付けられているか確認してください。

6 シャワースタンドの取り付け

シャワースタンドをフランジで固定します。

【△注意】

フランジの締め付けは、専用工具G11(別売)で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、シャワースタンドが緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワースタンド
シートパッキン
取り付け穴 φ36~38
輪パッキン
スリップ板
フランジ
固定

専用工具 G11(別売)

7 シャワーホースの接続

① 【一般地仕様の場合】カプラーとシャワーホースの接続が緩んでいないか確認してください。
緩んでいる場合はカプラー手締め後、約30度増し締めしてください。
(締め付けトルクの目安は約100N・cm)

【寒冷地仕様の場合】水抜き付きカプラーとシャワーホースを接続します。
水抜き付きカプラー手締め後、約30度増し締めしてください。
(締め付けトルクの目安は約100N・cm)

【△注意】カプラー等の接続の際は、以下の内容に注意してください。
漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
※カプラーの締め付け不足や締め付け過ぎ
※シャワーホースのセレーション部以外に工具をかけない
※シャワーホースはねじらない

一般地仕様 寒冷地仕様

シャワーホース セレーション部
ここに工具をかける

シャワーホース 水抜き付きカプラー

ブライヤー等で固定

② カプラーのキャップをはずし、スライダーを下ろしてから、本体のプラグへカチッと音がするまで押し込みます。(スライダーがすでに下りている場合もあります)

取り付け後、カプラーを引っばってはずれないことを確認します。

下ろす
スライダー
カプラー

下りていない状態

下りている状態

キャップははずす

プラグ

押し込む

カチッ

5mm程度

スライダー
カプラー

カプラー

はずれないこと

【△注意】

シャワーホースは止水栓に引っ掛けしないで、給湯パイプの外側にぶらさげてください。シャワーホースが引き出しにくくなったり、ホース損傷により漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワーホース 止水栓(別売)

シャワーホース 止水栓(別売)

8 ステッカーの貼り付け

使用方法ステッカーを見やすい位置に貼り付けてください。

取り付け後の点検と清掃

通水確認

【△注意】水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5~6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワーフェイス・ストレーナ・泡まつ器清掃のお願い

シャワーヘッドのシャワーフェイス・ストレーナ・泡まつ器、逆止弁ユニットのストレーナにゴミ等がつまると、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

サーモスタットカートリッジの清掃方法

サーモスタットカートリッジにゴミがつまったり、水あか、汚れ等が付着した場合、吐水量が減ったり、温度調節がうまくできなくなったりしますので清掃してください。

【△注意】サーモスタットカートリッジの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。サーモスタットカートリッジをいきなりはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

① 湯水両側の止水弁[2カ所]又は元栓をしっかりと締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。

【お願い】キャップをはずす際は、傷がつかないようにしてください。

② 薄手の布を精密ドライバーの先端にかぶせます。

③ 精密ドライバーをキャップの切り欠き部に差し込みキャップをはずしてから、ねじをはずします。

④ 温度調節ハンドル、吐止水レバーを取りはずします。
(取り付け手順4の逆の手順を参照してください。)

⑤ ふたを取りはずし、サーモスタットカートリッジを取りはずします。

⑥ サーモスタットカートリッジをブラシで水洗いします。

清掃後は、上記と逆の手順で組み立ててください。

【お願い】取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。

ねじ
合わせて押し込む
切欠き

③ はずす
④ はずす

キャップ
ねじ
温度調節ハンドル
吐止水レバー

スリップ板
サーモスタットカートリッジ
ふた

湯側止水栓(別売)
湯側止水弁
⑤-2 はずす
⑤-1 はずす
水側止水栓(別売)
水側止水弁

⑥ 清掃
歯ブラシなど
サーモスタットカートリッジ

温度調節ハンドルの設定方法

温度調節ハンドルの目盛が吐水温度とズれている場合、温度調節ハンドルをはめ直してください。

取扱説明書「日常お手入れ・保守」参照

流量の調節方法(止水栓は本製品に同梱されていません。別売です)

流量の調節は右記の方法で行ってください。

止水栓(別売)
湯側止水弁
あける
しめる

止水栓(別売)
水側止水弁
あける
しめる

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
湯水が止まらない	止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴は、シャワーヘッド内の残留水です。故障ではありません		—
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ「流量の調節方法」
	シャワーフェイス・ストレーナ・泡まつ器にゴミ等がつまっていますか	シャワーフェイス・ストレーナ・泡まつ器を清掃する	取扱説明書5・6ページ「シャワーフェイス・ストレーナ・泡まつ器の清掃方法」
	ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか シャワーフェイス・ストレーナ・泡まつ器は凍っていませんか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする シャワーフェイス・ストレーナ・泡まつ器にぬるま湯をかける	—
高温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ「流量の調節方法」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか 給湯器の給湯温度を50℃~60℃に上げる	止水弁を開ける	8ページ「流量の調節方法」
温度調節がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁で流量を調節する	8ページ「流量の調節方法」
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
	シャワーフェイス・ストレーナ・泡まつ器にゴミ等がつまっていますか 温度調節ハンドルの設定は合っていますか	シャワーフェイス・ストレーナ・泡まつ器を清掃する 温度調節ハンドルの設定を確認する	取扱説明書5・6ページ「シャワーフェイス・ストレーナ・泡まつ器の清掃方法」 取扱説明書6ページ「温度調節ハンドルの設定方法」
吐水が飛び散る	シャワーフェイス・ストレーナ・泡まつ器にゴミ等がつまっていますか	シャワーフェイス・ストレーナ・泡まつ器を清掃する	取扱説明書5・6ページ「シャワーフェイス・ストレーナ・泡まつ器の清掃方法」
シャワーの吐水状態が不安定	給湯器の給湯温度を50℃~60℃に設定し、水側止水弁をしぼることに より、改善される場合があります。		—

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

【△注意】修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。
水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

8 ページ